

令和5年度事業計画

1. 基本方針

令和5年度事業計画につきましては、令和2年度から続く「コロナ禍」からの脱却、回復といったプラス思考を基に、新たな「成長」を意識して作成をいたしました。今年こそはという思いと不安な思いが混在しているのが現実ではありますが、群馬県、そして、みどり市の動向を注視しつつ、しっかりとシルバー事業を推進してまいります。

最近の社会全体としての動きは、「脱マスク」が盛んに叫ばれ、まるでコロナが終息したような錯覚さえ覚えます。今まで慎重の上にも慎重さを重ね、シルバーとしては堅実にコロナ対策、そして事業運営を進めてまいりました。まずは、会員、職員の安全安心を第一に新型コロナウイルスに対しても、感染予防対策を徹底してまいりました。今後も、多くの高齢者の皆様が集う施設、拠点としてのシルバー人材センターの安全面には細心の注意を払ってまいりたいと思います。そして事業運営に関しましてもアンテナを高く張り巡らし、会員が安心して就業できるよう情報の収集に努め、就業環境の整備を怠ることなく進め、市民の皆様そして地域との信頼関係をより一層高めてまいりたいと考えております。

さて、今年最大の事業課題とすれば、10月に導入予定となっている「インボイス制度」が挙げられます。実際にスタートしなければ分からない部分ではありますが、近年の物価上昇は顕著なものがあり、お客様への影響は計り知れないものがあると考えます。既に準備は行ってきましたが、制度が完成する6年後に向けて順調に進めるためにも、関係機関と一体となって更なる研究を行い、安定した運営を目指してまいります。

次は、毎年の課題となっております「会員拡大」です。この問題は、シルバー人材センターだけの問題ではなく、まさに国が抱える重要課題である少子高齢化・人口問題と切り離すことができない大きな問題であり、やはり関係機関との連携が重要となっております。当然、当シルバーにおいても地域との繋がり、行政との繋がりを基に可能な対応は今後とも地道に続けてまいりたいと考えております。

当センターも公益社団法人として設立当時から、みどり市をはじめ多くの関係機関、そして住民の皆様にご育てられてまいりました。今年度、お陰様をもちまして、設立20周年を迎えることができます。果たすべき責任は大きなものがあるとしっかり認識し、併せて感謝の気持ちを忘れずに「次」に向けて新たな歩を進めてまいりたいと思います。コロナ禍の影響、蓄積する社会問題を抱え、運営面・財政面においてまさに苦しい状況が続くことは間違いありませんが、当センターとしても問題解決に向けて、しっかり向き合ってまいります。

今後も、関係機関ともしっかりと連携を図り、計画に基づく数値目標を踏まえ、予算を的確に執行し一日も早くコロナ禍以前の運営状況、状態に戻れるよう進めてまいりたいと考えております。そして必要に応じて「中長期計画」の部分的な見直しを行い、実態に即した計画的な運営を行ってまいりたいと考えております。

最後に、会員皆様の健康をご祈念申し上げるとともに、会員相互の信頼関係の醸成を念頭に地域に愛される組織づくりの推進をお誓いするとともに、今年も皆様のご協力を頂き、実りある一年にしていきたいと思います。

2. 事業目標

事業目標を次のとおり設定し、計画的に事業を推進する。

- | | |
|------------|------------|
| (1) 会員数 | 325 人 |
| (2) 粗入会率 | 1.7 % |
| (3) 就業率 | 83.5 % |
| (4) 就業延べ人数 | 33,200 人日 |
| (5) 契約金額 | 158,000 千円 |

3. 事業計画

先述のとおり、コロナ禍の影響等により厳しい状況は引き続きあるものと認識しておりますが、可能な限りの取り組みを目標に以下のとおり10項目を計画の柱として掲げました。

(1) 就業機会の拡充と就業率の向上

役職員・会員による民間企業、一般家庭、地方公共団体等への受注の働きかけを積極的に行い、新規受注開拓を図り、会員に適した就業機会を確保する。

特に柔軟な対応が可能な「請負業務」を中心に手が届きやすい業務の開拓を図る。

(2) 高齢者活用・現役世代雇用サポート事業（通称サポート事業）への取り組み

高齢者活用・現役世代雇用サポート事業として介護支援や地域における人手不足分野等の新たな職域拡大に取り組み、特に女性の社会進出を後押しするとともに人材育成のための広域的な研修事業への積極的な参加を支援する。

ここ数年継続実施の連合主催の「植木の剪定講習」を今後とも推進する。最近、特に外仕事の会員が減少しているため、改善を図る。

(3) 啓発活動の強化

当センターを理解してもらうためチラシの配布やホームページを活用し、さらには県連合とも連携し、新聞等も利用して啓発活動を強化し、会員募集、就業機会の確保・拡大を目指す。会員には「事務局だより」に情報を掲載し、全会員の情報共有を図る。。

また、みどり市広報への掲載、夏祭り協賛によるポスター広報等も活用し、幅広く市民の皆様への啓発を図る。

(4) 安全・適正就業の徹底

安全・適正就業委員会を定期的で開催し、事故撲滅のための検証を行う。また、委員と職員による就業現場の巡回指導を強化し、会員の自覚と責任を啓発するために安全・適正就業強化月間や「作業前チェックリスト」による事前点検の実施及び安全・適正就業の日を設け、安全就業の徹底を図る。

特に近年多発している「熱中症」「死亡事故」の事案に関しては「事務局だより」で特集を組み、注意喚起を図る

(5) 健康管理意識の高揚

市の各種検診を受診するよう働きかけるとともに、自己管理意識の高揚を図る。
また、「夏の猛暑対策」を県連合とも情報共有を図り、会員の健康面のサポートを行い、安全・適正就業に繋げる。そして、コロナ対策として、施設内の「マスクの着用」「アルコール消毒」等の衛生管理を推進し、「高齢者施設」としての認識を徹底する。
最近の取り組みとして、携帯電話保有会員に向けて携帯電話等に、「安全・適正就業」「健康管理」等に関するメール送信を行い、様々な情報伝達を行っている。

(6) 会員の拡大

健康で働く意欲のある高齢者の入会を促進するために、会員や役職員の口コミによる勧誘活動を積極的に行うとともに、親睦会の活動を通じて啓発・勧誘を実施する。
また、市や関係団体にも協力をいただき、情報の発信に努め、様々な機会を捉えてセンターの知名度を高めていく。啓発活動を一層強化する。
将来的な体制を考え、現場作業を担える会員の確保を目指す。

(7) 会員の技術向上と新規技能者の養成

職種転換による後継者の育成や新入会員に対し、自主研修や実技研修を行い、技術向上・新規技能者の養成に努める。センター独自の研修会を計画し、また連合主催の各種研修会等にも積極的に参加を促す。

(8) 交通事故防止対策の実施

会員の交通事故を未然に防ぐため、今年度も「高齢者・初心者しあわせドライブ」事業への参加や、事故防止のために黄色いウインドブレーカーの着用を推進し、事故防止の意識を高める。また、公用車の使用についても、しっかりと管理ルールを守っていただき、自分自身の車と同様に大切に使用していただく。
飲酒運転の撲滅を目指し、就業前後のアルコール検知検査を可能な限り実施する。

(9) 桐生市シルバー人材センターとの交流

隣接する桐生市シルバー人材センターと積極的な情報交換を行い、交流を深める。
近年著しい労働環境の変化、「インボイス制度」等の新たな仕組みへの対応について、桐生市はじめ、県内各地とエリアを広げアンテナを高くして幅広く情報収集を行う。

(10) 社会奉仕活動の推進

10月のシルバーの日に、東支所、本所、笠懸支所それぞれが、会員の協力のもと日頃よりお世話になっている地域の植え込みの手入れや清掃奉仕活動を実施するなど、積極的に社会奉仕活動を行う。

今後は、「会員拡大」に繋がるよう、しっかり地域ごとにPRし、地域に喜ばれる活動を行っていきたい